



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス
 コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	47,600	4.2	1,504	22.9	1,591	21.7	980	17.5
30年3月期第2四半期	45,672	5.6	1,952	8.3	2,031	6.7	1,188	4.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 971百万円 (17.8%) 30年3月期第2四半期 1,181百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	51.44	
30年3月期第2四半期	62.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	58,622	39,821	67.9	2,089.66
30年3月期	58,302	39,078	67.0	2,050.68

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 39,821百万円 30年3月期 39,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		12.00		12.00	24.00
31年3月期		12.00			
31年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,600	4.9	4,200	2.0	4,400	0.6	2,400	0.8	125.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	19,063,968 株	30年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	7,644 株	30年3月期	7,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	19,056,445 株	30年3月期2Q	19,056,742 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いています。外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態であるとんかつ業態を中心に出店し、とんかつ業態15店舗、牛めし業態8店舗、その他業態4店舗（国内2店舗、海外2店舗）の合計27店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店2店舗、とんかつ業態1店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,151店舗（うちFC6店舗、海外12店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態959店舗、とんかつ業態162店舗、鮪業態6店舗、その他の業態24店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、49店舗の改装（全面改装7店舗、一部改装42店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、『春のカルビ増量キャンペーン』、創業祭として『カルビ焼肉定食100円引きキャンペーン』等を実施いたしました。また、『松屋復刻メニュー総選挙2018』第1位の「焼き牛めし」復刻販売、新商品として「ごろごろチキンのてりたま丼」「和風タルタルチキン定食」、「回鍋肉定食」「ネギだく塩ダレ豚カルビ定食」「荳わさび山形だし牛めし」「ケイジャンチキン定食」「ごろごろチキンのトマトカレー」「茄子とネギの香味醤油ハンバーグ定食」「牛焼肉の旨辛炒め定食」、健康志向メニューとして「定食のライスを湯豆腐に変更可能なサービス」における「さっぱり塩ダレおろし豆腐」等を導入いたしました。また、お弁当予約サイト松弁ネットで、『松弁ポイント』を開始いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比100.9%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比4.2%増の476億円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の32.2%から32.8%に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の63.5%から64.0%と増加いたしました。この要因は、生産性向上等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の35.4%から34.7%と改善した一方、新規出店、改装実施の店舗数増により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の28.1%から29.3%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.6%から67.5%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比22.9%減の15億4百万円、経常利益は前年同期比21.7%減の15億91百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比17.5%減の9億80百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は586億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億19百万円増加いたしました。このうち、流動資産は125億円となり、現金及び預金が10億73百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ10億30百万円減少いたしました。また、固定資産は461億21百万円となり、新規出店、改装実施による有形固定資産の取得等によって、前連結会計年度末に比べ13億49百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は188億1百万円となり、短期借入金等が増加した一方、未払法人税等の減少、長期借入金の返済、未払金の支払い等によって前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は398億21百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ7億42百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の67.0%から67.9%と向上しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億13百万円減少し、52億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は25億89百万円(前年同期は24億29百万円の収入)となりました。

これは「税金等調整前四半期純利益」14億72百万円や、「減価償却費及びその他の償却費」16億84百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」9億50百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は29億3百万円(前年同期は20億88百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」32億73百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」3億47百万円といった資金減少要因があった一方、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入」97百万円といった資金増加要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は92百万円(前年同期は11億80百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」20億円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」15億19百万円や、「リース債務の返済による支出」3億20百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,813,683	7,740,625
受取手形及び売掛金	763,442	817,420
商品及び製品	454,714	432,377
原材料及び貯蔵品	2,374,624	2,517,300
その他	1,124,570	993,254
流動資産合計	13,531,035	12,500,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,068,023	16,004,717
機械装置及び運搬具（純額）	1,062,982	1,326,549
工具、器具及び備品（純額）	1,577,829	1,767,156
リース資産（純額）	1,731,526	1,515,723
土地	9,279,386	9,279,386
建設仮勘定	425,609	437,120
有形固定資産合計	29,145,358	30,330,654
無形固定資産		
ソフトウェア	183,033	180,455
その他	38,593	25,633
無形固定資産合計	221,627	206,088
投資その他の資産		
投資有価証券	72,056	71,659
敷金及び保証金	12,279,707	12,271,531
長期前払費用	443,060	431,140
店舗賃借仮勘定	190,096	251,550
繰延税金資産	1,371,978	1,513,732
投資不動産（純額）	511,591	506,129
その他	546,012	548,879
貸倒引当金	△9,703	△9,697
投資その他の資産合計	15,404,800	15,584,924
固定資産合計	44,771,786	46,121,668
資産合計	58,302,822	58,622,648

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,888,179	2,027,264
短期借入金	89,270	1,985,097
1年内返済予定の長期借入金	2,768,526	2,091,170
未払金	4,117,933	3,698,885
リース債務	626,560	636,142
未払法人税等	1,164,843	910,662
賞与引当金	909,943	933,298
役員賞与引当金	—	707
資産除去債務	—	420
その他	1,394,687	1,161,739
流動負債合計	12,959,943	13,445,387
固定負債		
長期借入金	3,095,904	2,353,420
役員退職慰労引当金	581,100	581,100
リース債務	1,243,352	1,000,730
資産除去債務	1,148,591	1,226,635
繰延税金負債	5,049	6,480
その他	189,915	187,566
固定負債合計	6,263,912	5,355,932
負債合計	19,223,855	18,801,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	25,531,282	26,282,811
自己株式	△15,227	△16,142
株主資本合計	39,135,132	39,885,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	600
為替換算調整勘定	△57,041	△65,017
その他の包括利益累計額合計	△56,165	△64,417
純資産合計	39,078,966	39,821,327
負債純資産合計	58,302,822	58,622,648

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
売上高	45,672,868	47,600,944
売上原価	14,698,645	15,632,207
売上総利益	30,974,222	31,968,736
販売費及び一般管理費	29,022,105	30,463,976
営業利益	1,952,117	1,504,759
営業外収益		
受取利息	12,432	11,189
受取配当金	10,422	1,575
受取賃貸料	126,745	123,122
その他	97,038	97,253
営業外収益合計	246,638	233,139
営業外費用		
支払利息	31,735	22,478
賃貸費用	116,885	108,754
その他	18,461	15,106
営業外費用合計	167,082	146,339
経常利益	2,031,672	1,591,559
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	—	25,000
収用補償金	3,522	—
その他	914	1,486
特別利益合計	4,436	26,486
特別損失		
固定資産除却損	3,075	10,838
店舗閉鎖損失	12,239	932
固定資産売却損	866	903
減損損失	51,852	132,723
和解金	1,034	50
その他	1,094	—
特別損失合計	70,161	145,447
税金等調整前四半期純利益	1,965,947	1,472,599
法人税、住民税及び事業税	667,632	632,592
法人税等調整額	109,584	△140,200
法人税等合計	777,216	492,391
四半期純利益	1,188,730	980,207
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188,730	980,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,188,730	980,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	△275
為替換算調整勘定	△7,090	△7,976
その他の包括利益合計	△6,895	△8,251
四半期包括利益	1,181,835	971,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,181,835	971,955
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,965,947	1,472,599
減価償却費及びその他の償却費	1,565,204	1,684,630
減損損失	51,852	132,723
賞与引当金の増減額（△は減少）	△82,794	23,435
受取利息及び受取配当金	△22,854	△12,764
支払利息	31,735	22,478
有形固定資産除売却損益（△は益）	△506	11,740
店舗閉鎖損失	12,109	932
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	356,473	453,352
売上債権の増減額（△は増加）	△113,103	△54,338
たな卸資産の増減額（△は増加）	△347,271	△129,577
仕入債務の増減額（△は減少）	97,664	139,736
未払消費税等の増減額（△は減少）	△140,850	△234,832
その他	243,514	30,549
小計	3,617,121	3,540,665
法人税等の支払額	△1,187,743	△950,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,429,377	2,589,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△1,892,997	△3,273,394
有形固定資産の売却及び収用等による収入	19,152	4
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△300,283	△347,857
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	117,358	97,910
利息及び配当金の受取額	10,616	1,767
その他	△42,371	618,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,088,525	△2,903,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,640,000	2,000,005
短期借入金の返済による支出	△752,340	△100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,486,426	△1,519,840
リース債務の返済による支出	△302,561	△320,499
自己株式の取得による支出	△133	△915
利息の支払額	△31,170	△22,224
配当金の支払額	△247,737	△228,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,180,370	△92,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,387	△7,612
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△853,904	△413,057
現金及び現金同等物の期首残高	5,655,134	5,623,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,801,230	5,210,625

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成30年6月26日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,678千円減少しております。

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月26日 定時株主総会	普通株式	228,678	12	平成30年3月31日	平成30年6月27日	利益剰余金

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。